

令和 6 年度システム改善・資源開発検討会議（縦レビュー会議）から

抽出された課題に対する取組報告について

(1) 課題

切れ目ない支援が提供される体制が必要である（こども・障がい・高齢、転入等）

(2) 取組内容

① 顔の見える交流会の開催

目的：支援者の顔の見える関係性を構築することにより、日々相談や連携を行える支援者間の連携強化を行う。

事務局：経験年数 5 年未満の職員で構成

実施概要：令和 7 年 10 月 16 日（木）午後 1 時 30 分～午後 3 時 参加者 26 名

アンケートより：普段対面しない方と交流できた、人となりがわかり今後話しやすくなったと思う等の意見とともに、今回のような交流の機会は一度だけでなく複数回もつことができればより関係が深まると感じたとの意見もあった。また、事務局の構成員が 1 つの企画を検討し、実施したことで、より関係性が深まり、今後連携のハードルが低くなったとの意見があった。

② 研修「虐待終結後の切れ目ない支援のポイントを学ぶ」

実施日：R7 年 8 月 27 日（水）10 時～正午 参加者 51 名

目的：虐待対応における終結の考え方や、その後（虐待なし事案含む）の支援・連携の内容や留意点、地域ケア会議の活用等について学ぶこと

講師：川端 伸子氏（一般社団法人権利擁護支援プロジェクトともす 代表）

アンケートより：

強みに着目した声掛けを意図的に使っていきたいと思います。また、虐待終了ケースは再発防止の観点からも地域ケア会議の開催がより重要だと感じました。

③ 気づきのチェックシート完成

関係機関等への周知を実施。